◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.380　（2023年度No.8）**　 　2023/2/24

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆上を見上げているパンダ

自動的に生成された説明

21日帰国

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2-6** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **6-12** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **13-15** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **15-19** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **19-21** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **21-35** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

2月17日　　かわら版379号・かわら版ニュース＆トピックス311号を発行

2月21日　　かわら版ニュース＆トピックス312号を発行

2月21日　　第9回運営委員会・常任理事会開催

2月24日　　かわら版380号・かわら版ニュース＆トピックス313号を発行

2月24日　　ニュースレター234号を発行予定

**研修等のご案内**

**フード･フォラム・つくば「春の例会」「フードセーフティ分科会」**

**講演会のお知らせ**

**現場における衛生管理と運用のための考え方**

日時： 2023年3月6日（月）13:15～１6:50

場所： フクラシア八重洲（東京都中央区八重洲2-4-1名

　　　 住友不動産八重洲ビル（旧ユニゾ八重洲ビル）3階）

参加費： 会員：無料　/　会員外：5,000円 定員64名

　　　　※協賛後援等団体の会員の参加費は無料です。

PDF ポスター

<https://www.fft.gr.jp/page/topics/20230306/poster.pdf>

お申込みフォームはこちら

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe219DK37jXcZhMe8etn-gbWeEIGNHAP1faz1mnP622faJUrA/viewform>

（応募締め切り：2023年2月27日（月））

■プログラム

12:30- 受付開始

13:15-13:25 挨拶

（フード・フォラム・つくば幹事長　間 和彦氏）

13:25-13:35 講演会のねらい

（フード セーフティ分科会幹事　立石 亘氏・川﨑 晋氏）

13:35-14:35 『 飛騨牛ブランドの海外輸出と食肉センターの衛生管理について 』

　小林 光士氏

（飛騨ミート農業協同組合連合会　代表理事専務）

「産地一体で取り組む飛騨牛ブランドの輸出」を事例に、現在牛肉輸出 に直面している課題、および食肉センターに義務化されたCodex「食品衛生の一般原則」による衛生管理の基本的な考え方と、より正確なHACCPの構築について紹介する。

14:35-14:45 休憩

14:45-15:45 『 Listeria monocytogenesに着目した製造環境の衛生管理 』

　 下島 優香子氏

（相模女子大学栄養科学部管理栄養学科　准教授）

*Listeria monocytogenes*は食品製造環境に定着し、食品製品を二次汚 染します。本菌を対象とした環境モニタリングは、本菌による危害防止および一般的衛生管理の確認に有効です。今回は実例を紹介しながら解説します。

15:45-15:55 休憩

15:55-16:40 総合討論

16:40-16:50 閉会の挨拶

（農研機構食品研究部門　所長　亀山 眞由美氏）

■お問い合わせ

フード・フォラム・つくば事務局萩原・塚田（E-mail：[office@fft.gr.jp](mailto:office@fft.gr.jp)　）

TEL：029-838-8010、FAX：029-838-8005

**HACCP制度化への対応は自主的な衛生検査から！**

**様々なメーカーのATP検査キットやタンパク検出キット、簡易培地、アレルゲン検査キット、**

**携帯形微生物観察器を実習で体験してみませんか？**

**開催日程が決定いたしました‼　受講申込受付中!!**

**第9回 HACCP導入へ向けた迅速検査実習**

主催　　迅速検査研究会

（ATP・迅速検査研究会は2022年11月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**当研究会の川崎晋会長による自主衛生管理をテーマとした講義、当会理事によるATPふき取り検査や簡易培地に関する講義の他、実際にATPふき取り検査などの操作や、簡易培地の観察などを体験していただきます。**

**また、皆様の日頃のお悩みにお応えするディスカッションの場も設けます。**

HACCP制度化の動きもあるので、

それに対応して自主検査の充実を図りたい！　**でも……。**

「微生物検査を実施しているが、今後は簡易・迅速に

検査ができる培地の導入も検討している」

「簡易・迅速検査で悩みや再確認したいことがあるけど、

社内で相談できる相手がいない」

「ATPふき取り検査の正しい使い方を知りたい」

「アレルゲン検査を始めたいけど、何から始めれば……？」

**そんなお悩みをお持ちの検査担当者・品質管理担当者様へ、**

**座学と実習をご提供します！**

**迅速検査を未経験の方も大歓迎！**



**■開 催 日 時：**

**2023年3月1日（水）9時55分～17時20分 予定**

**受付開始　9時30分～**

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止・延期となる可能性がございます。予めご了承ください。

**■会　　　場：一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所（東京都中央区豊海町5-1）**

**■定　　　員：16名**

※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

※申込多数の場合は、企業・団体の検査担当者の方を優先させて頂く場合があります。

※大学・専門学校の学生の方もお申し込みも可能です。

※感染防止対策としてマスク着用、手指消毒、体温測定などにご協力をお願いします。

**■受　講　費：賛助会員・法人会員8,000円、一般10,000円**

**（テキスト代・白衣・シューズカバー代込み）**

※テキストとして当会15周年記念誌「現場のためのATPふき取り検査マニュアル」を配布します。

※受講者には修了証を発行いたします。

※公定法などの一般的な食品微生物検査の技術を習得する実習ではありません。

**主な内容 （予定）**

|  |
| --- |
| 【講義】HACCPにおける自主検査の位置づけ、簡易・迅速検査の役割など  【講義・実習】手洗い講習  ※実習では、手洗いチェッカーを用いた手洗い効果の確認を体験していただきます。  【講義・実習】ATP ふき取り検査、タンパクふき取り検査、アレルゲン検査、微生物培地の基礎、など  ※実習では、ATP ふき取り検査とタンパク質検出キット、アレルゲン検査キット、携帯形微生物観察器の操作を体験していただきます。  また、簡易・迅速培地で培養した一般生菌、大腸菌・大腸菌群などの観察を体験していただきます。  【質疑応答】事前に受け付けたご質問や、研修会を通じてのご質問などにご回答いたします。 |

**〔検査資材・試薬提供（予定）〕**

|  |  |
| --- | --- |
| **★微生物検査培地** | アヅマックス、栄研化学、エルメックス、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、  日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★ATPふき取り検査** | エア・ブラウン、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★タンパク／アレルゲン検査** | アヅマックス、エア・ブラウン、ネオジェン ジャパン、日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★携帯形微生物観察器** | mil-kin |
| **★手洗いチェッカー** | 東京サラヤ |

参加者からは「色々なキットを体験できてわかりやすかった」「講義も実習も今後の参考になると思う」「これまで現場で使っていたが、疑問点が解消できた」「これから迅速検査を導入するので、社内で情報共有したい」など、迅速検査の初心者から熟練者まで、幅広い層に好評なイベントです

**申込み方法**

**下記の6項目を明記の上、下記へE メールにてお申込みください。**

**1．所属・役職、2．住所、3．氏名（ふりがな）、 4．E - mail、5．電話番号、6．会員or一般**

※当会の賛助会員・法人会員企業と機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります。

Ｅメール： [info@ATP-jinsokukensa.com](mailto:info@ATP-jinsokukensa.com)

**↓ウェブサイトからお申込みいただけます。　**<https://onl.bz/btmdNs6>

**↓QRコードからもお申込みいただけます。**

講義の後、様々な検査キットを体験して頂きます。

沢山の検査キットが一堂に会する、この機会をお見逃しなく！



**お問い合わせ**

迅速検査研究会（ATP・迅速検査研究会） 事務局担当：立石（たていし） ＴＥＬ：０９０－２９０７－５４５６

**個人情報保護／**お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、ご本人様の承諾を得ることなく、ATP・迅速検査研究会以外の目的で第三者に提供、開示することはありません。

**利用目的／**お預かりした個人情報は、ご入会・ご継続時の申込管理、ATP・迅速検査研究会のセミナー・勉強会のご紹介、及びこれらに関する各種イベント等のご案内に使用させて頂く場合がございます。

迅速検査研究会 （ATP・迅速検査研究会）第47回講演会「迅速検査の今日的意義」ご案内

迅速検査研究会　会長　川﨑 晋

迅速検査研究会は2023年2月15日（水）、東京の月島社会教育会館で第47回講演会「迅速検査の今日的意義」を開催します。ふるってご参加ください。(現地参加＆オンライン配信)

（ATP・迅速検査研究会は 2022 年 11 月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**プログラム（予定）**　2023年2月15日（水）（開場12：00～、開演13：00～）

|  |  |
| --- | --- |
| 12：00～13：00 | **受付**※受付スタッフにお名刺を 1 枚お渡しください。  会場ロビーにおいて、迅速検査関連の資材の展示を行っております。 |
| 13：00～13：10  （10分） | **【主催者あいさつ】 研究会の名称変更と簡便・迅速検査今後の展望**  迅速検査研究会 会長　**川﨑 晋**　先生  （国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）食品研究部門） |
| 13：10～14：00  （50分） | **【基調講演】 HACCPにおける自主衛生検査と環境検査**  迅速検査研究会 副会長　**森 哲也**　先生  （一般財団法人法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 微生物検査部） |
| 14：00～14：30  （30分） | **【講演】 県内食品企業の食品保存性向上を目的とした衛生管理および食品開発支援**  福岡県工業技術センター 生物食品研究所 食品課　**田﨑 麻理奈**　先生 |
| 14：30～14：45 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション①】** 日水製薬株式会社 |
| 14：45～15：05 | 休憩・展示　（会場ロビーにてATP・迅速検査の関連資材の展示を行っております） |
| 15：05～15：20 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション②】** ネオジェン ジャパン株式会社 |
| 15：20～16：10  （50分） | **【講演】 簡便・迅速検査を活用した医療施設における感染／衛生検査**  ワタキューセイモア株式会社 メデイカル営業本部 学術担当部長　**伏見 了**先生  （東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 客員准教授） |
| 16：10～17：00  （50分） | **【教育講演】食品リスクとの科学的な向き合い方**  **～食の信頼を確保するスマート・リスクコミュニケーション**  特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会（SFSS）理事長　**山崎 毅**先生 |
| 17：00～17：20 | **総合討論**（閉会後も会場ロビーにて関連資材の展示を行っています） |

※開演前、休憩時間、閉会後に簡便・迅速検査に関する展示を行っています。ごゆっくりご覧ください。

**【会場】** 月島社会教育会館 （〒104-0052 東京都中央区月島 4-1-1、月島区民センター）

**【定員】** 会場 100 名 ／ ウェブ（ ＺＯＯＭ ）視聴 100 名

**【受講費】** 賛助会員企業・法人会員企業 1,000 円、一般 3,000円 （※事前登録をお願いします）

**【お申し込み方法】**

以下の7項目を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

1．所属・役職、2．住所、3．氏名、4．E-mail、 5．電話番号、 6．会場聴講／ウェブ聴講の別、

7．会員／非会員の別　（当会の賛助会員・法人会員、機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります）

**【申し込み・問い合わせ先】**[info@atp-jinsokukensa.com](mailto:info@atp-jinsokukensa.com)　 **【Google Formからもお申し込み頂けます】**<https://onl.bz/xyRMA6K>

**QRコードからもお申込みいただけます**

**【会場での感染対策について】**

会場内では新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防にご協力をお願いします。

・受付時の検温ならびに手指消毒にご協力ください。

・検温の結果、37.5℃以上の場合は、参加をご遠慮いただく場合があります。

・感染症の流行の状況によってオンライン配信のみになる場合があります。

**【会場アクセス】**

・地下鉄 月島駅 10 番出口（都営大江戸線、東京メトロ有楽町線）

・都バス 月島三丁目

・江戸バス（コミュニティバス） 月島区民センター

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★***Link***インフルエンザの発生状況**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html>

**★***Link***インフルエンザに関する報道発表資料 2022/2023シーズン**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00010.html>

**★***Link***インフルエンザ流行状況レベルマップ**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/tokuteisessyu_iryou_00003.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***第104回コーデックス連絡協議会(開催案内)　2023/2/22**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31217.html>

　　厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、令和5年３月16日 (木) に、コーデックス委員会における活動状況の報告と検討議題に関する意見交換を行うため、「第104回 コーデックス連絡協議会」を開催します。なお、今回は、ウェブ上での傍聴を受け付けます。

記

1 開催概要

(1) 厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、コーデックス委員会（※）の活動及び同委員会での我が国の活動状況を、消費者をはじめとする関係者に対して情報提供するとともに、検討議題に関する意見交換を行うため、コーデックス連絡協議会を開催しています。コーデックス連絡協議会の委員、活動内容等は、以下のURL ページに掲載しています。

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/index.html>

(2) 今回は、令和5年3月に開催される第53回食品添加物部会 （CCFA) 及び4月に開催される第16回食品汚染物質部会（CCCF) の主な検討議題の説明を行い、意見交換を行うこととしています。

※ コーデックス委員会（Codex Alimentarius Commission）は、1963 年にFAO（国連食糧農業機関）とWHO（世界保健機関）が合同で設立した政府間組織です。消費者の健康を保護し、公正な食品貿易を保証するために、国際標準となる食品の規格（コーデックス規格）や基準・ガイドラインなどを定めています。

2 開催日時

日時：令和5 年3 月16 日（木曜日） 13 時00分～14 時30分

開催形式：ハイブリッド

・委員はAP丸の内 EFGルーム

（東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー３階 ）

またはウェブにて参加

　　　　 ・傍聴はウェブのみ

3 議題

（１）コーデックス委員会の活動状況

今後の活動について

・第53食品添加物部会（CCFA)

・第16回食品汚染物質部会（CCCF）

（２）その他

これまでの当会議の議事概要等は以下の URL ページで御覧になれます。 また、今回の会議資料は、令和5年 1 月27 日（金曜日） までに厚生労働省のURLページに掲載するとともに、会議終了後に3省庁のURL ページで公開することとしております。

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/study/codex/index.html>

4 傍聴可能人数

　 無制限

5 傍聴申込要領

（１）申込方法

電子メールにて、以下のお申込先に、｢第104回コーデックス連絡協議会｣ の傍聴を希望する旨、御氏名（フリガナ）、御連絡先 （電話番号、電子メールアドレス） 、勤務先・所属団体等を明記の上、お申込み下さい。（電話でのお申込みは御遠慮願います。 また、厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全企画課及び農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課ではお申込みをお受けできません。）

＜電子メールによるお申込先＞

消費者庁 食品表示企画課 宛て

電子メールアドレス：[i.codexccp@caa.go.jp](mailto:i.codexccp@caa.go.jp)

（２）申込締切等

令和5年3 月9日（木）17 時必着です。

傍聴はYouTubeによるライブ配信等です。

傍聴用URLについては、３月10 日（金）以降に御連絡します。

（３）傍聴される皆様への留意事項

次の留意事項を遵守してください。これらを守られない場合は、今回および今後の傍聴をお断りすることがあります。

・ウェブ会議を撮影、録画・録音をしないこと

・ウェブ会議用の URL を転送したり SNS で公開したりしないこと

・その他、事務局職員の指示に従ってください。

（４） その他

・傍聴等に係るインターネット通信料は、参加者の負担となります。

・安定したネットワーク環境の利用を推奨します。

・ネットワークの回線状況や Wi-Fi 環境により動作に支障が出る場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

・お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、御本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。

お問い合わせ先

厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生･食品安全企画課

　　担当者：国際食品室 佐々木、海老名

代表：03-5253-1111（内線2405）FAX：03-3503-7965

消費者庁 食品表示企画課

担当者：宗、横田、名達

代表：03-3507-8800 (内線2316)　FAX:03-3507-9292

農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課

担当者：国際基準室 織戸、堀米、押川

代表：03-3502-8111 (内線4471)　ダイヤルイン：03-3502ｰ8732

FAX:03-3507-4232

**■***NEW***サル痘の患者等の発生について　2023/2/21**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31354.html>

　　本日、以下の男性２名について、検査の結果、サル痘の患者等と確認されたことが、東京都から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者等に関する情報は、以下のとおりです。

カレンダー

中程度の精度で自動的に生成された説明

**■輸入食品に対する検査命令の実施　（パキスタン産ごまの種子）　2023/2/10**

**アフラトキシン**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30908.html>

　　本日、以下のとおり輸入者に対して、食品衛生法第26条第３項に基づく検査命令（輸入届出ごとの全ロットに対する検査の義務づけ）を実施することとしたので、お知らせします。

テキスト が含まれている画像

自動的に生成された説明

**アフラトキシンについて**

　　発がん性を有するカビ毒（アスペルギルス属の真菌により産生される）の一種。

**違反の内容**

　　品名：ごまの種子

　　輸入者：兼松株式会社

　　輸出者：ASIAN COMMODITIES CORPORATION

　　届出数量及び重量：1,998 バッグ、99,787.20 kg

　　検査結果：アフラトキシン 16 μg/kg検出 (基準：含有してはならない)

　　届出先：横浜検疫所

　　日本への到着年月日：令和４年12月12日

　　違反確定日：令和５年２月８日

　　貨物の措置状況：全量保管中

参考：パキスタン産ごまの種子の輸入実績（令和３年４月１日から令和５年２月６日まで：速報値）

テーブル

自動的に生成された説明

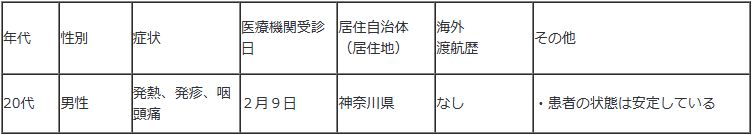
**■サル痘の患者の発生について　2023/2/14**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31106.html>

　　発疹等の症状を示し、サル痘への罹患が疑われた男性１名に関して検査の結果、サル痘の患者と確認されたことが、本日、東京都から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者に関する情報は、以下のとおりです。



**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３２９報）　2023/2/21**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31110.html>

**■***NEW***原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の解除　2023/2/17**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31120.html>

　　本日、原子力災害対策本部は、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限が指示されていた以下について、解除を指示しました。

（１）　岩手県一関市（旧花泉町及び旧千厩町の区域に限る。）で産出されたタケノコ

（２）　岩手県釜石市、奥州市（旧水沢市、旧江刺市及び旧胆沢町の区域に限る。）及び平泉町（旧平泉町の区域に限る。）で産出されたワラビ（野生のものに限る。）

（３）　宮城県栗原市（旧築館町、旧栗駒町、旧高清水町、旧一迫町、旧瀬峰町、旧金成町及び旧志波姫町の区域に限る。）で産出されたタラノメ（野生のものに限る。）

１　岩手県に対して指示されていた出荷制限のうち、一関市（旧花泉町及び旧千厩町の区域に限る。）で産出されたタケノコ並びに釜石市、奥州市（旧水沢市、旧江刺市及び旧胆沢町の区域に限る。）及び平泉町（旧平泉町の区域に限る。）で産出されたワラビ（野生のものに限る。）について、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から岩手県への指示は、別添１のとおりです。

（２）岩手県の申請は、別添２のとおりです。

２　宮城県に対して指示されていた出荷制限のうち、栗原市（旧築館町、旧栗駒町、旧高清水町、旧一迫町、旧瀬峰町、旧金成町及び旧志波姫町の区域に限る。）で産出されたタラノメ（野生のものに限る。）について、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原　子力災害対策本部から宮城県への指示は、別添３のとおりです。

（２）宮城県の申請は、別添４のとおりです。

３　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

【参考１】 原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

【参考２】

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和４年３月30日）

（別添１）（PDF:78KB）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001058281.pdf>

（別添２）（PDF:604KB）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001058282.pdf>

（別添３）（PDF:91KB）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001058283.pdf>

（別添４）（PDF:627KB）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001058284.pdf>

（参考資料）（PDF:1,387KB）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001058285.pdf>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３２８報）　2023/2/14**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30925.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.4/ 2023（2023.2.15）　2023/2/15**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202304m.pdf>

**目次**

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. 牛ひき肉に関連して発生した大腸菌 O157:H7 感染アウトブレイク（2022 年 10 月 28日付最終更新）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 国外旅行に関連していないサイクロスポラ感染に関する調査（2022 年 10 月 14 日付最終更新）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. エキノコックス症 ― 2018 年次疫学報告書

2. 欧州連合／欧州経済領域（EU/EEA）の抗菌剤耐性 ― 欧州抗菌剤耐性サーベイランスネットワーク（EARS-Net）の 2020 年次疫学報告書

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 食品安全の推進：「ONE – Health, Environment & Society – Conference 2022」会議からの戦略的提言

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. 「BMMF（Bovine Meat and Milk Factors）」に関する新しい知見

**【ProMED-mail】**

1．コレラ、下痢、赤痢最新情報（04）（03）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.4/ 2023（2023.2/14）　2023/2/15**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202304c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【ECHA】 ECHA が PFAS 規制案を公表する**

欧州 5 ヵ国（デンマーク、ドイツ、オランダ、ノルウェー、スウェーデン）から、パー及びポリフルオロアルキル化合物（PFAS）に分類される全ての化合物の生産と使用を制限するという規制案が、欧州化学品庁（ECHA）へ提出された。今後、ECHA のリスク評価（RAC）及び社会経済分析（SEAC）の科学委員会が REACH 規則を踏まえて検討し、パブリックコメントを経た後に、立法案が欧州委員会（EC）へ提出される予定である。

＊ポイント： この規制案の最大のポイントは、約 1 万種に及ぶ全ての PFAS が対象になっている点でしょう。PFAS は多種多様な用途に使用されているため、どこまで対象範囲とするかは検討されると思いますが、それでも他に例を見ないほど広範に大きな影響が生じることが予想されます。そのため今後の動向に注目しておく必要があるでしょう。現時点では、2025 年に制定し、適用については用途に応じて最長 12 年間の移行期間を設けることが提案されています。

**【FDA】 FDA は CBD とダイエタリーサプリメントに関連する 3 件の市民請願への回**

**答を発表**

米国食品医薬品局（FDA）は、業界団体から提出された、カンナビジオール（CBD）製品をダイエタリーサプリメントとして販売できるようにする規制の検討を求めた 3 件の市民請願を退ける決定をした。入手可能な科学的根拠をもとに慎重にレビューした結果、ダイエタリーサプリメントに関する現行規制が CBD 製品に適していない上、適切な安全基準を満たすことを示す根拠はなく明白でないことを理由としている。ただし CBD 製品を利用したいという消費者の要望があることを受け、CBD 製品のための新たな規制の枠組みが必要であり、その検討のための協力は惜しまないとの声明も発表した。

＊ポイント： 米国 FDA はこれまでも CBD 製品の個々の製造・販売業者に対して警告文書を発送するなどの対応を行ってきましたが、今回の声明で、ダイエタリーサプリメントとしての販売を認めないという意思を明確にしたので、今後は大々的に監視されるのではないかと予想します。

**【FDA】 FDA は統一した予防及び対応活動を強化するため、ヒト用食品プログラムの**

**再構築を提案する**

米国 FDA は、ヒト用食品プログラム（Human Foods Program）という新しいビジョンを発表した。この組織改革は、食品安全・応用栄養センター（CFSAN）、食品政策・対応局（OFPR）、及び規制局（ORA）の一部の機能を統合し、FDA 長官直属の一人のリーダーを配置して権限を持たせた上で、系統だった組織運営を目指している。また、栄養上級センター（Center for Excellence in Nutrition）、州や地方の規制当局と行う業務の調整を担当する統合食品安全システムパートナーシップオフィス（Office of Integrated Food Safety System Partnerships）などを新設する。動物用医薬品センター（CVM）は引き続き独立させ、ヒト用食品プログラムと並列組織とする計画である

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第891回）の開催について　2023/2/23**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年2月28日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明及び食品安全基本法第１１条第１項第１号に規定する食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときについて（第１０版食品添加物公定書の作成のための規格基準の改正）（厚生労働省からの説明）

（２）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　　・遺伝子組換え食品等「JPBL013株を利用して生産されたα-アミラーゼ」に係る食品健康影響評価について

（３）令和５年度食品安全確保総合調査課題（案）について

（４）その他

４．動画視聴について

：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、2月27日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、2月28日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■食品に生える「かび」の基礎知識と「かび毒」のリスク評価〔令和4年度食品安全モニターセミナーより〕**

<https://www.youtube.com/watch?v=rn526sLd5lA>

　　かびには、醸造などに利用される有益なものがある一方、健康を害する天然の毒素「かび毒」を産生するかびもあります。この「かび毒」は現在、世界的にリスク管理が進んでいますが、家庭での「かび」や「かび毒」については十分な情報提供が行われていませんでした。そこで、内閣府食品安全委員会にて毒性の専門家である浅野委員が、

1. 「かび」の基礎知識

2. 「かび毒」の評価事例・デオキシニバレノール（DON）

3. 食品安全委員会の「かび毒」の評価

4. 家庭で注意できること

について、分かりやすく解説しています。

※類似の資料はこちら↓からダウンロードできます。

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMa>...

**■食品安全セミナー（健康食品）開催のお知らせ（令和５年３月１０日）　2023/2/9**

<https://www.fsc.go.jp/koukan/annai/annai20230310.html>

**食品安全セミナー（オンライン）を開催します**

**「テーマ：健康食品による健康被害を防ぐために」−　３月１０日(金)１４時開催　−**

**◆　「無承認無許可医薬品」がダイエット用ゼリーとして販売され健康被害が生じています。食品安全委員会は2015年、『いわゆる「健康食品」に関する19のメッセージ』を取りまとめましたが、今回の事案は、まさにその中でお伝えしていた（６）「健康食品」として販売されている「無承認無許可医薬品」に注意してください、（14）ダイエットや筋力増強効果を期待させる食品には、特に注意してください、に該当します。**

**◆　SNSでの広告や個人輸入・販売など、健康食品を取り巻く環境は変化しましたが、7年前に発出したメッセージはどれも、その重要性に変わりはなく、改めて広く国民の皆様に意識していただきたいものばかりです。**

**◆　食品安全委員会の脇昌子委員が当時、ワーキンググループ座長として19のメッセージを取りまとめました。そこで、脇委員が、近年の健康被害や事件の状況も踏まえ、健康食品による健康被害を未然に防ぐためのポイントを情報提供し、皆様から事前にお寄せいただいた質問を中心に回答します。**

**１．開催日時：令和５年３月10日(金)１４時００分から１６時００分（予定）**

**２．開催形態：Ｗｅｂ会議システム（Ｗｅｂｅｘ）**

**３．対象者 ：どなたでもご参加可能です**

**４．参加可能人数：３００名（先着順）**

**５．開催内容：**

**（１）話題提供（６０分）**

**「健康食品」との付き合い方〜いわゆる「健康食品」に関する19のメッセージ〜**

**食品安全委員会委員　脇　昌子**

**（２）質疑応答（６０分）回答者 ：食品安全委員会委員　脇　昌子**

**ファシリテーター：食品安全委員会事務局　リスクコミュニケーション官　藤田　佳代**

**司会：食品安全委員会事務局　情報・勧告広報課長　浜谷　直史**

**６．参加申込み要領**

**（１）本セミナーはＷｅｂ会議システム「ｗｅｂｅｘ」により行います。**

**下記の申込フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みください。**

**（２）質疑応答は、事前質問を受け付けます(２月22日まで)。**

**時間に限りがありますので、全ての質問にお答えできない場合があります。**

**特に健康被害の実態、国としての対策等リスク管理に関する質問にはお答えできませんのでご注意ください。**

**（３）参加者には、セミナー（オンライン）のＵＲＬを前日１６時までに送付いたします。**

**（４）その他**

**・インターネット通信料は、参加者のご負担となります。**

**・パソコン、タブレット、スマートフォンなどでの参加が可能ですが、安定した通信環境を推奨します。**

**・通信環境により、動作に支障が出る場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

**・お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、ご本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。**

**７．参加申込み**

**参加申込フォーム（**<https://form.cao.go.jp/shokuhin2/opinion-0116.html>**）から、**

**事前質問のある方は令和５年２月22日(水)１４時までにご登録をお願いします（事前質問はそこで締め切ります）。**

**参加登録は３月７日(火)１４時まで受け付けます。**

**（参考資料）**

**「健康食品」に関する情報**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.html>

**「健康食品」に関するメッセージ**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.data/kenkosyokuhin_message.pdf>

**「健康食品」に関する情報（Q&A）**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.data/kenkosyokuhin_datakenkosyokuhin_QA.pdf>

**「健康食品」に関する報告書**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.data/kenkosyokuhin_houkoku.pdf>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年12月24日から令和5年1月27日）2023/1/13**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=12&from_day=24&to=struct&to_year=2023&to_month=1&to_day=27&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***広島県世羅町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内63例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/22**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230222.html>

　広島県は、同県世羅町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内63例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月22日（水曜日）午前0時（2月21日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）広島県は、令和5年1月21日に同県世羅町の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内63例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）広島県は、令和5年2月16日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、広島県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月31日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月22日（水曜日）午前0時（2月21日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***アルゼンチンからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2023/2/21**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230221.html>

　農林水産省は、2月20日（月曜日）にアルゼンチンからの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

アルゼンチンの家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）の発生が確認された旨、アルゼンチン家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和5年2月20日（月曜日）にアルゼンチンからの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、2国間で輸入条件が設定されていないため、従前より輸入できません。

※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

（参考）アルゼンチンからの家きん肉等の輸入実績

テーブル

自動的に生成された説明

　これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

お問合せ先

消費・安全局動物衛生課　担当者：沖田、下平

代表：03-3502-8111（内線4584）　ダイヤルイン：03-3502-8295

**■***NEW***宮城県角田市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内69例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230220_5.html>

　　宮城県は、同県角田市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内69例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月20日（月曜日）午前0時（2月19日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）宮城県は、令和5年1月28日に同県角田市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内69例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）宮城県は、令和5年2月13日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、宮城県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月29日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月20日（月曜日）午前0時（2月19日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***コスタリカからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2023/2/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230220_4.html>

　　農林水産省は、2月4日（土曜日）にコスタリカからの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

コスタリカの家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）の発生が確認された旨、コスタリカ家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和5年2月4日（土曜日）にコスタリカからの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、2国間で輸入条件が設定されていないため、従前より輸入できません。

※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

なお、コスタリカからの家きん肉等の輸入実績はありません（2020年～2022年）。

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

お問合せ先　消費・安全局動物衛生課　担当者：沖田、下平

代表：03-3502-8111（内線4584）　ダイヤルイン：03-3502-8295

**■***NEW***香港向け家きん由来製品の輸出再開について（宮崎県及び青森県）　2023/2/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230220.html>

　　本日より、宮崎県及び青森県からの香港向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

概要

令和4年10月28日に高病原性鳥インフルエンザの今シーズン国内一例目が発生して以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港当局からは非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、発生県からの輸出再開について協議を行ってきたところ、今般、香港当局との間で高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた宮崎県及び青森県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

引き続き、他の発生県からの輸出再開について、香港当局との協議を行ってまいります。

＜2022年1-12月の輸出額＞

香港向け鶏肉：18億円（鶏肉の総輸出額20億円）

香港向け鶏卵：79億円（鶏卵の総輸出額85億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜これまでの経過＞

令和4年10月28日：岡山県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年11月20日：宮崎県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年11月20日：青森県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

参考

香港向けの家きん由来製品停止状況については、以下のページよりご確認いただけます。

URL：<https://www.maff.go.jp/aqs/hou/pdf/exkakin3-6.pdf>　（PDF：91KB)

　お問合せ先

消費・安全局動物衛生課　担当者：沖田、木村

代表：03-3502-8111（内線4584）ダイヤルイン：03-3502-8295

**■***NEW***埼玉県行田市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内65例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230217_4.html>

　　埼玉県は、同県行田市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内65例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月17日（金曜日）午前0時（2月16日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）埼玉県は、令和5年1月26日に同県行田市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内65例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）埼玉県は、令和5年2月6日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、埼玉県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月26日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月17日（金曜日）午前0時（2月16日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***滋賀県大津市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内61・66例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230217.html>

　　滋賀県は、同県大津市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内61・66例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月17日（金曜日）午前0時（2月16日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）滋賀県は、令和5年1月19日、26日に同県大津市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内61・66例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、　移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）滋賀県は、令和5年2月6日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、滋賀県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月26日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月17日（金曜日）午前0時（2月16日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました

**■***NEW***株式会社西友における生鮮水産物の不適正表示に対する措置について　2023/2/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/230217.html>

**農林水産省は、株式会社西友（本社：東京都北区赤羽2丁目1番1号。法人番号8011503002037。以下「西友」という。）が、生鮮水産物かに類の名称について、「紅ずわいがに」であるにもかかわらず「ずわいがに」と、また、「ずわいがに」であるにもかかわらず「紅ずわいがに」と表示して販売したことを確認しました。**

**このため、本日、西友に対し、食品表示法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施等について指示を行いました。**

**1.経過**

**農林水産省東北農政局、関東農政局及び近畿農政局が、令和3年11月11日から令和5年2月1日までの間、西友、傘下店舗等に対し、食品表示法(平成25年法律第70号)第8条第2項の規定に基づく立入検査等を行いました。**

**この結果、農林水産省は、西友が以下の行為を行っていたことを確認しました（別紙1参照）**

**(1)生鮮水産物かに類（商品名「生ずわいがに」）の名称について、「紅ずわいがに」であるにもかかわらず「ずわいがに」と表示し、少なくとも令和2年3月27日から令和4年1月15日までの間に、359パックを、傘下10店舗において一般消費者に販売したこと。**

**(2)生鮮水産物かに類（商品名「生紅ずわいがに」）の名称について、「ずわいがに」であるにもかかわらず「紅ずわいがに」と表示し、少なくとも令和3年5月2日から令和3年11月6日までの間に、50パックを、傘下5店舗において一般消費者に販売したこと。**

**2.措置**

**西友が行った上記1の行為は、食品表示法第4条第1項の規定に基づき定められた食品表示基準（平成27年内閣府令第10号）第18条第1項の表の「名称」の項の規定に違反するものです（別紙2参照）。**

**このため、農林水産省は、西友に対し、食品表示法第6条第1項の規定に基づき、以下の内容の指示を行いました。**

**指示の内容**

**(1)販売する全ての食品について、直ちに表示の点検を行い、不適正な表示の食品については速やかに食品表示基準の規定に従って、適正な表示に是正した上で販売すること。**

**(2)販売していた食品について、食品表示基準に定められた遵守事項が遵守されていなかった主な原因として、消費者に正しい表示を行うという意識及び食品表示制度に対する認識の欠如並びに食品表示制度についての内容確認及び管理体制の不備があると考えられることからこれらを含めた原因の究明・分析を徹底すること。**

**(3)(2)の結果を踏まえ、食品表示に関する責任の所在を明確にするとともに、食品表示の相互チェック体制の強化、拡充その他の再発防止対策を適切に実施すること。これにより、今後販売する食品について、食品表示基準に違反する不適正な表示を行わないこと。**

**(4)食品の表示に関する全役員及び全従業員に対して、食品表示制度についての啓発を行い、その遵守を徹底すること。**

**(5)(1)から(4)までに基づき講じた措置について報告書に取りまとめ、令和5年3月17日までに農林水産大臣宛てに提出すること。**

**参考**

**本件については、農林水産省関東農政局でも同様のプレスリリースを行っております。**

**食品表示法違反の事実に対しては、食品表示連絡会議を構成する各行政機関（消費者庁、警察庁、国税庁、農林水産省）で連携しつつ、厳正な対応に努めてまいります。**

**添付資料**

**別紙1 不適正表示一覧表(PDF : 195KB)**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/230217-3.pdf>

**別紙2 食品表示法（抜粋）、食品表示基準（抜粋）、食品表示基準Q＆A（抜粋）、魚介類の名称のガイドライン（抜粋）(PDF : 243KB)**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/230217-1.pdf>

**参考 株式会社西友の概要(PDF : 168KB)**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/230217-2.pdf>

**お問合せ先**

**消費・安全局消費者行政・食育課　担当者：佐久間、綾戸**

**代表：03-3502-8111（内線4634）ダイヤルイン：03-6738-7170**

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による消費行動の変化等に関する研究」プロジェクトにおけるプログレッシブ・レポートの公表につ.いて　2023/2/20**

[https://www.caa.go.jp/policies/future/icprc/#progressive\_report](https://www.caa.go.jp/policies/future/icprc/%23progressive_report)

**■マクセル株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について　2023/2/14**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/032143/>

　消費者庁は、本日、マクセル株式会社に対し、同社が吸収合併する前のマクセル株式会社が供給していた「オゾン除菌消臭器 オゾネオ エアロ MXAP-AE270」と称する商品に係る表示について、景品表示法第8条第1項の規定に基づき、課徴金納付命令を発出しました。

公表資料

マクセル株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について[PDF:4.1 MB]

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_230214_1.pdf>

**■第9回消費者法の現状を検証し将来の在り方を考える有識者懇談会(2023年1月12日)議事録**

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★赤田ふれあい加工所（京北スーパー）「秋田天然きのこ水煮（さわもたし、ミックス）」 - 返金／回収　包装材の膨張　2023/2/22**

**★マルサンアイ「マーガリン：豆乳ソフト」 - 返金／回収　一部商品において、乳化の崩れによりカビが発生するおそれがあるため　2023/2/22**

**★cbd island「はちみつ：ハニーアイランド（14本入り、30本入り）」 - 返金／回収　国内では食品への使用が認められていないn-ペンタンが検出されたため　2023/2/22**

**★原口園「粉末緑茶八女茶」 - 交換／回収　賞味期限の誤表示（本来の賞味期限：2023年12月）　2023/2/22**

**★紀ノ國屋「紀ノ国屋 低糖質アーモンドチョコレート」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（本来の賞味期限：240日(8ヶ月)）　2023/2/21**

**★紀ノ國屋「紀ノ国屋 低糖質くるみチョコレートココアパウダー」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（本来の賞味期限240日(8ヶ月)）　2023/2/21**

**★丸共水産「岡山県かき生食用」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：23.2.20、正：23.2.19）　2023/2/21**

**★阪急阪神百貨店「玄人派だし おしゃぶり昆布梅味」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦・乳成分・さば・大豆」の表示欠落　2023/2/21**

**★菓詩工房わたなべ「小高秀（シュークリーム）」 - 回収　消費期限の誤表示（誤：23.3.21、正：23.2.21）　2023/2/21**

**★合同酒精「果実酒：モメサン キュヴェ・サン・ピエール 赤／白（375ml）」 - 交換／回収一部商品において、びん口部が欠けている可能性があることが判明　2023/2/20**

**★姫路中央漬物「手仕込み白菜キムチ」 - 返金／回収　キムチ製造工程にて使用しているキッチンタオルが混入していたため　2023/2/20**

**★上進漬物工業「割干大根ハリハリ漬」 - 返金／回収　異味・異臭の発生　2023/2/20**

**★邑久町漁業協同組合「かき生食用」 - 返金／回収　生食用かき成分規格のE.coli最確数の基準値を超えている可能性があるため　2023/2/20**

**★ダッドウェイ「玩具：SKIP HOP　シルバークラウド・アクティビティジム」 - 返金／回収**

**当該製品構成部品が外れ、子どもが誤飲し、窒息する可能性があるため　2023/2/20**

**★三奥屋「青菜漬」 - 回収　賞味期限の誤表示（誤：23.03.25、正：23.02.25）　2023/2/17**

**★felisa mart「チョコレート、ほか」 - 返金／回収　アレルゲン等の表示欠落　2023/2/17**

**★サトウ産業「豆腐チョレギサラダ」 - 回収　アレルゲン「牛肉」の表示欠落（添付ドレッシングの入れ間違い）　2023/2/17**

**★アントレックス「洗濯用洗剤等：THE LAUNDRESS製品」 - 返金／回収　バクテリアが検出されたため　2023/2/16**

**★キャリエールヒデトワ「エトワール」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2023/2/16**

**★やます「精米（曽利房の駅で精米されたお米）」 - 返金／回収　プラスチック片の混入の可能性があるため　2023/2/16**

**★オールハーツ・カンパニー「フィナンシェ、マドレーヌ」 - 返金／回収　原材料、アレルギー表示の欠落　2023/2/16**

**★松井永淑「いかキムチ」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、いか、大豆」、添加物の表示欠落　2023/2/16**

**★Offbeat「米粉のフィナンシェ、生チョコサンド、生チョコクッキーサンド」 - 交換／回収　アレルゲン「乳成分・卵・大豆・リンゴ・アーモンド」の表示欠落　2023/2/16**

**★ゼストクック「揚げ出し豆腐の彩り春あんかけ」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：23.2.18、正：23.2.13）　2023/2/16**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒**

**■食中毒の発生について　2023年02月21日　記者発表資料　神奈川県平塚市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/prs/r0603106.html>

　　2月16日(木曜日)、平塚市内の飲食店を利用した人から「2月8日(水曜日)の夜に飲食店で食事をしたところ、複数名が下痢、腹痛等の症状を呈している。」旨の連絡が平塚保健福祉事務所にありました。

　　当保健福祉事務所で調査を行ったところ、食中毒様症状を呈している人の共通の食事がこの飲食店が提供した食事だけであること、症状が共通していること、患者の便からカンピロバクターが検出されたこと、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、本日、この飲食店が提供した食事を原因とする食中毒と決定しました。

1　摂食者数　3名(男性：1名、女性：2名)(調査中)

2　患者数　3名(男性：1名、女性：2名)(調査中)

3　入院者数　0名(調査中)

4　初発日時　2月11日(土曜日)　16時頃(調査中)

5　主な症状　下痢、腹痛など

6　原因施設

名　称　炭火焼鳥ぷんちゃん

業　種　飲食店営業

所在地　平塚市

7　原因食品　調査中

2月8日(水曜日)に提供された主なメニュー

焼き鳥(トロハツ、レバーなど)、鶏の半身あげ、せせりポン酢、ささみ一本炙り、ポテトサラダ、するめイカ肝あえ、枝豆など

8　病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

9　措置　原因施設に対して、2月21日(火曜日)から営業禁止

2月22日(水曜日)営業禁止解除

本件については、健康医療局生活衛生部生活衛生課の内規に基づき、修正している箇所がありますので、記者発表時の内容をお知りになりたい方は、問合せ先までご連絡ください。

**■群馬・桐生市の飲食店でカンピロバクターによる食中毒　3日間の営業停止処分に 患者は全員快方に　2/21(火) 20:52配信　群馬テレビ　群馬県桐生市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/450ba936ac4bc53f175567951378fe3465e1e47f>

**【2月21日】桐生市内の飲食店で発生した食中毒事件について（食品・生活衛生課）**

**更新日：2023年2月21日　群馬県桐生市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.gunma.jp/site/houdou/187438.html>

令和５年２月１０日（金）に桐生市内の飲食店が提供した食事を原因とする食中毒事件が発生しました。

県では、当該飲食店に対し、３日間の営業停止を命ずるとともに、再発防止策を指導しました。

なお、入院者はおらず、有症者は全員快方に向かっております。

１　概要

（１）発生日　令和５年２月１３日（月）　午前６時３０分頃（初発）

（２）有症者　８名（受診７名、入院なし）

年齢別発症者数

光, 探す, 座る, ダブル が含まれている画像

自動的に生成された説明

【有症者住所】太田市（２）、桐生市（１）、みどり市（１）、藤岡市（１）、栃木県（３）

（３）症状　下痢、腹痛、発熱等

（４）病因物質　カンピロバクター

（５）原因食品　２月１０日（金）に当該飲食店が提供した食事（推定）

（６）原因施設

施設名　串焼ダイニング紅屋

所在地　桐生市

（７）経緯

　令和５年２月１６日（木）午後２時５０分頃、桐生市内の医師から「２月１０日（金）午後６時に飲食店で会食したグループのうち、７名が発熱、下痢等の症状を訴えている」旨の連絡が桐生保健福祉事務所（保健所）にありました。

　調査したところ、２月１０日に当該飲食店を利用した２グループ１４名中８名が、同様の食中毒様症状を呈していることが確認されました。有症者の共通食はこの飲食店で提供された食事のみであること、５名の有症者便からカンピロバクターが検出されたこと、有症者の発症状況が当該食中毒菌によるものと一致していること、及び診断した医師から食中毒届が提出されたことなどから、県では、この飲食店が提供した食事を原因とする食中毒事件であると断定しました。

２　施設に対する措置

飲食店営業の営業停止３日間（令和５年２月２１日（火）から２３日（木）まで）

※参考：本県の食中毒発生状況［２月２１日現在、（ ）内は中核市を含む］

光, 閉じる が含まれている画像

自動的に生成された説明

**■「いこいの村はりま」でコース料理食べた男女16人食中毒　全員軽症、快方に　加西**

**2/20(月) 21:20配信　神戸新聞NEXT****兵庫県加西市**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2003c8bb8a658728af72ff17d7de8b394a431c60>

**営業許可施設等に係る行政処分　2023/2/20**　**兵庫県加西市**

**調査中**

<http://web.pref.hyogo.lg.jp.cache.yimg.jp/kf14/hw14_000000020.html>

処分年月日　2023/2/20

業種　飲食店営業

施設名称　いこいの村はりま【一般社団法人ひょうご憩の宿】

施設所在地　加西市

主な適用条項　法第6条

行政処分を行った理由　食中毒

病因物質　調査中

行政処分等の内容　営業停止3日間

**■施設に対する行政処分等の情報　2023/2/17　大阪府高石市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.osaka.lg.jp/shokuhin/ihan/sisetsuihan.html>

　業種：飲食店営業

施設名称：ごんや

施設所在地：高石市

違反の理由：食中毒の発生

違反の内容：食品衛生法第6条第3号違反

措置状況：営業停止2日間

病因物質：カンピロバクター・ジェジュニ

原因食品：2月10日に提供された食事

患者数：2名

**★ウイルスによる食中毒★**

**■食中毒の発生（令和5年2月23日）　岐阜県郡上市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/280444.html>

　1　探知

　　令和5年2月19日（日曜日）12時頃、「2月16日（木曜日）から17日（金曜日）にかけて郡上市内のホテルに宿泊した複数人が嘔吐、発熱、腹痛等の症状を呈している。」旨、宿泊客の親族から関保健所へ連絡があった。

2　概要

　　関保健所郡上センターが調査したところ、2月17日（金曜日）に郡上市内のホテル「ホテル郡上八幡」内にある飲食店「レストラン大滝苑」で食事をした10グループ38人のうち、3グループ17人中9人が、2月17日（金曜日）から19日（日曜日）にかけて下痢、嘔吐、発熱等の食中毒症状を呈し、うち2人が医療機関に受診し、入院していたことが判明した。

　関保健所郡上センターでは、患者らに共通する食事は当該施設が調理した食品に限られること、患者の便からノロウイルスが検出されたこと、患者を診察した医師から食中毒の届け出があったことから、当該施設を原因とする食中毒と断定した。

　なお、患者はいずれも退院し、快方に向かっている。

3　発生状況

テーブル

中程度の精度で自動的に生成された説明

4　主なメニュー　朴葉味噌、鮎の一夜干し、だし巻き卵、ポテトサラダ、漬物等

5　原因食品　調査中

6　病因物質　ノロウイルス

7　原因施設

　屋　号：レストラン大滝苑（おおたきえん）

　業　種：飲食店営業（旅館）

　所在地：郡上市

8　検査　原因究明のため、引き続き患者ら及び従業員の検便、調理場等の検査を実施中。

9　措置

　　関保健所郡上センターでは、当該施設を2月23日（木曜日）から食品衛生法に基づく営業禁止処分とした。（再発防止措置が講じられた後に解除する。）

　なお、営業禁止処分は、「ホテル郡上八幡」内にある「レストラン大滝苑」の厨房部分のみです。

10　発表資料

　　記者発表資料 [PDFファイル／297KB]

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/339537.pdf>

岐阜県における食中毒発生状況（令和5年2月23日現在、本件を含む

テーブル

自動的に生成された説明

**■山形市の飲食店でノロウイルス食中毒　10代から70代までの男女17人**

**2/23(木) 20:17配信　さくらんぼテレビ　山形県山形市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a8360aa33fee83100f51a13c962f1e213f4a213d>

**■【長崎】ホテルで70人食中毒「旗松亭」平戸　2/23(木) 19:31配信　長崎文化放送**

**長崎県平戸市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/60dfd224508bcef6233c710d3f80a4213d15de7f>

**食中毒事件の発生について　2023/2/24　長崎県平戸市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/598596/index.html>

　　令和5年2月21日(火曜日)午前9時50分頃、国民健康保険　平戸市民病院(平戸市草積町1125番地12)から、平戸市内の飲食店を利用した2名が食中毒を疑う症状で病院を受診した旨の通報が県北保健所にあり、同保健所が調査を行った。

　　その結果、同保健所は原因施設を平戸市内にある飲食店と断定し、令和5年2月23日(木曜日)に行政処分を行いましたのでお知らせします。

1.　概要

　　県北保健所による調査の結果、有症者らは、2月18日(土曜日)の夕方に計12名のグループで会食を行い、全員が2月19日(日曜日)の13時半頃から20日(月曜日)の18時頃にかけて下痢、嘔吐、腹痛等の症状を呈していることが判明した。また、当該飲食店において、2月18日(土曜日)の夕食及び2月19日(日曜日)の朝食を喫食した別の10グループ49名のうち40名が、加えて2月19日(日)の昼に会食を行った計40名のグループのうち18名が同様の症状を呈していた。

　　有症者全員の共通食がこの飲食店での食事以外にないこと、有症者及び調理従事者の便からノロウイルスが検出されたこと、発症までの時間と症状がノロウイルス食中毒の特徴と一致することから、同保健所は当該飲食店を原因施設とする食中毒と断定し、以下のとおり行政処分を行った。

2.　原因施設

営業所所在地：平戸市

営業所の名称：国際観光ホテル　旗松亭(きしょうてい)

営業の種類　：飲食店営業(旅館・一般食堂)

3.　原因食品

令和5年2月18日(土曜日)から19日(日曜日)に当該飲食店から提供された食事

[提供されたメニュー]

(1)令和5年2月18日(土曜日)　夕方

前菜（立春貝、峰岡豆腐、ナマコの酢の物、鴨ロース煮、松葉ガニの袱紗焼き、穴子寿司、車えび、鯛の利休焼き）、刺身（ヒラメ、クエ、カンパチ、マグロ、タイ、イカ）、茶わん蒸し、海老と野菜のかき揚げ、アワビの塩焼き、豚しゃぶ、牛のほう葉焼き、鯛の煮付け、じゃこめし、つみれ汁、ヒラメ茶漬け、ヒラメのしゃぶ鍋、えびと白魚のかき揚げ、デザート

　　(2)令和5年2月19日(日曜日)　朝

前菜（タコとコハダの酢の物、ひじき煮、マグロのぬた和え、明太子、ナスのオランダ煮）、生ハムとアスパラガスのサラダ、自家製豆腐、鮭と卵焼き、トマトとレタスの鍋、ごはん、漬物、味噌汁、デザート（りんご、パイン、キウイ、ヨーグルト）

(3)令和5年2月19日(日曜日)　昼

前菜（立春貝、峰岡豆腐、ナマコの酢の物、鴨ロース煮、松葉ガニの袱紗焼き、穴子寿司、鯛の利休焼き）、蛤の吸い物、鯛の姿盛り、茶わん蒸し、天ぷら（海老、サツマイモ、蓮根、ししとう）、シャーベット、柑橘ジュレ、ローストビーフ、伊勢海老の黄金焼き、にぎり寿司（鯛、マグロ、カンパチ）、赤出汁、デザート（ブランデーゼリー、マスクメロン、パパイヤ）

4．病因物質　ノロウイルス

5．処分内容

　　　令和5年2月23日(木曜日)から2月24日(金曜日)まで2日間の営業停止(食品衛生法第6条第3号違反)。なお、当該施設は2月22日(水曜日)から営業を自粛している。

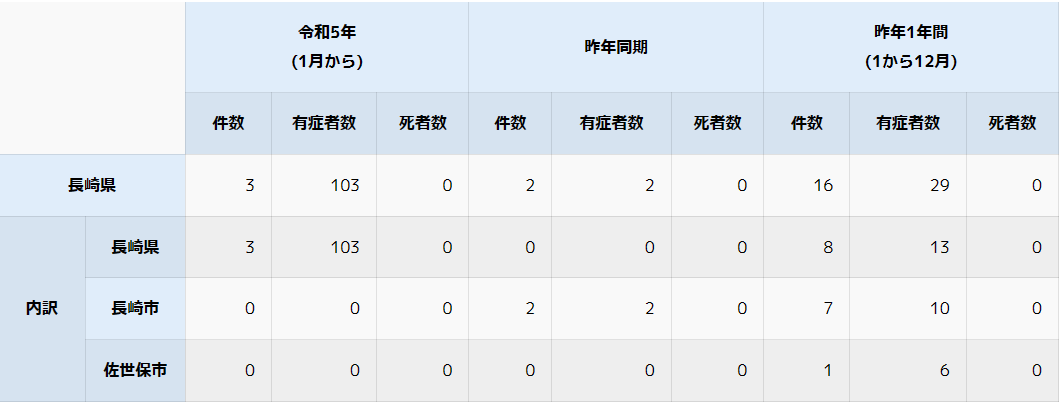
6．症状　嘔吐、下痢、腹痛等

7．摂食者数　101名

8．有症者数(令和5年2月23日(木曜日)現在)　70名(1歳から98歳)

11名受診(1名が入院しているが、全員回復に向かっている)

参考：県内の食中毒発生状況(令和5年2月23日(木曜日)現在) (本件含む)



**■那須塩原の飲食店で16人が食中毒　ノロウイルス検出**

**2/23(木) 19:28配信　とちぎテレビ　栃木県那須高原市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/891a1be7c1b28b731ab6cea6f9848440f1213139>

**令和5(2023)年栃木県内の食中毒事例（宇都宮市を除く）　栃木県那須高原市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e07/life/shokuseikatsu/chuudoku/datar5.html>

発生月　２月

保健所　県北

病因物質　ノロウイルス

原因食品　2月17日(金)に当該飲食店が提供した食事

原因施設　飲食店

喫食者数　調査中

患者数　16

**■葬儀場2カ所で食事の49人が食中毒　調理従事者1人からノロウイルス検出**

**京都新聞　2023年02月22日(水)18:01****京都府宇治市**

**ノロウイルス**

<https://www.excite.co.jp/news/article/kyoto_np_1001053970878726144/>

**食中毒の発生について　2022/2/22　京都府宇治市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.kyoto.jp/shoku-anshin/202302syokuchudoku.html>

山城北保健所において食中毒を疑う患者の発生を探知し、調査の結果、宇治市内の仕出し施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定しました。

令和5年2月22日（水曜）、山城北保健所長が同施設に対する営業停止処分を行いましたのでお知らせします。

探知の概要

2月19日（日曜）午前、山城北保健所に対し、管内の医療機関から「腹痛、下痢、吐き気等の食中毒様症状を呈した患者家族3名を診察した。17日（金曜）の夜に葬儀場で提供された食事が共通食である。」と通報があった。

通報を受けて山城北保健所が施設調査を行ったところ、17日（金曜）に調理提供した別の利用客も同様の症状を呈していることが判明した。

調査結果（2月22日（水曜）正午現在）

(1)有症者：3グループ49名（男性22名、女性27名：2才～85才）

うち12名が医療機関を受診、入院者なし。いずれも快方に向かっている。

(2)主な症状：下痢、嘔吐、発熱

(3)病因物質：ノロウイルスGⅡ

(4)原因食事：2月17日（金曜）、18日（土曜）に当該施設が提供した食事

原因施設

(1)屋号：京料理心月（しんげつ）槙島店

(2)所在地：宇治市

(4)許可業種：飲食店営業

原因施設の特定理由

(1)有症者の共通食は、当該施設が製造した食事のみである。

(2)有症者の発症状況が類似しており、有症者9名及び原因施設の調理従事者1名の便からノロウイルスGⅡが検出された。（保健環境研究所等で検査を実施）

(3)有症者の症状と、ノロウイルスによる食中毒症状が類似している。

(4)患者を診察した医師から食中毒の届出があった。

山城北保健所の対応

(1)原因施設の立入調査（調理従事者の検便、衛生指導、施設の清掃・消毒の指示等）

(2)喫食者の調査（発症状況調査、喫食状況調査）

(3)食品衛生法の規定による営業停止処分（2月22日（水曜）から2月23日（木曜・祝）までの2日間）

※なお、営業者は、2月20日(月曜)から営業を自粛しています。

お問い合わせ

健康福祉部生活衛生課　京都市上京区下立売通新町西入薮ノ内町

電話番号：075-414-4773　ファックス：075-414-4780

[seikatsu@pref.kyoto.lg.jp](mailto:seikatsu@pref.kyoto.lg.jp)

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2022/2/22　品川区**

**ノロウイルス**

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kenkou/kenkou-eisei/kenkou-eisei-syokuhin/hpg000025581.html>

　公表年月日　令和5年2月22日

被処分者業種等　そうざい製造業

施設の名称および施設の所在地

水仙本社工場

東京都品川区

適用条項　食品衛生法第6条第3号の規定に違反するので、法第60条第1項の規定を適用

不利益処分を行った理由　食中毒の発生

不利益処分等の内容　令和5年2月22日から令和5年2月24日の3日間の営業停止

備考

原因食品：当該施設が令和5年2月13日に調理し提供した弁当

病因物質：ノロウイルスGⅡ

営業者は令和5年2月17日から2月21日までの5日間営業を自粛した

**食中毒の発生について　品川区内の施設が調理し提供した弁当で発生した食中毒**

**2022/2/22　品川区**

**ノロウイルス**

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/02/22/21.html>

　探知

令和5年2月15日（水曜日）午後5時10分、千葉県から東京都に「千葉県在住のグループ37名が2月13日（月曜日）に都内で仕出し弁当を喫食したところ、18名がおう吐等の症状を呈した。」旨、連絡があった。調査の結果、当該弁当は品川区内の施設で調理されたことが判明した。

調査結果

　品川区保健所は、探知後直ちに食中毒の疑いで調査を開始した。

患者は、2月13日（月曜日）に当該施設が調理し提供した弁当を喫食した2グループの計31名で、2月14日（火曜日）午後3時00分から同月15日（水曜日）午後10時30分にかけて、下痢、おう吐、発熱等の症状を呈していた。

患者全員に共通する食事は、当該施設が2月13日（月曜日）に調理し提供した弁当のみであった。

患者のふん便からノロウイルスを検出した。

患者の症状及び潜伏期間がノロウイルスによるものと一致していた。

決定

本日、品川区保健所は、以下の理由により、本件を当該施設が調理し提供した弁当を原因とする食中毒と断定した。

2グループの患者のふん便からノロウイルスを検出した。

患者31名の症状及び当該施設で調理した弁当の喫食を起点とした潜伏期間は、ノロウイルスによるものと一致した。

患者31名の共通食は当該施設が調理した弁当のみであった。

患者周囲に感染症を疑う情報がなかった。

患者を診察した医師から食中毒の届出があった。

措置

当該施設は2月17日（金曜日）から営業を自粛しており、品川区は、本日から3日間の営業停止の処分を行った。

発症関係（2月22日午前9時00分現在）

発症日時

2月14日（火曜日）午後3時00分から2月15日（水曜日）午後10時30分まで

症状 下痢、おう吐、発熱等

発症場所　自宅等

患者数　患者数31名　男：20名、女：9名　※患者の年齢は調査中

入院患者数　0名

診療医療機関数・受診者数　5か所9名（男5名、女3名、性別調査中1名）

原因食品　当該施設が令和5年2月13日に調理し提供した弁当

病因物質　ノロウイルス

原因施設

屋号 水仙本社工場

業種 そうざい製造業

営業所所在地 東京都品川区

備考

主なメニュー 弁当1（白飯、中華春雨サラダ、ハンバーグ、プチトマト、ブロッコリー等）

弁当2（茶飯、煮物、玉ねぎマリネ、唐揚げ、ポテトサラダ、ボイル海老等）

検査関係（2月22日午前9時00分現在） 検査実施機関：東京都健康安全研究センター等

患者等ふん便：細菌27検体（24検体陰性、2検体黄色ブドウ球菌検出、1検体下痢原性大腸菌O1（VT陰性）検出）

ノロウイルス　27検体（21検体ノロウイルスG2検出、6検体陰性）

従事者ふん便：細菌21検体（13検体陰性、8検体検査中）

ノロウイルス　21検体（2検体ノロウイルスG2検出、19検体陰性）

拭き取り検体：細菌7検体（7検体陰性）

ノロウイルス　5検体（1検体ノロウイルスG2検出、4検体陰性）

食品（検食）：細菌5検体（5検体陰性）

ノロウイルス8検体（8検体陰性）

食品（参考品）：細菌27検体（27検体陰性）

ノロウイルス27検体（27検体陰性）

参考　東京都における食中毒発生状況（ただし本事件は含まない。）

テーブル

自動的に生成された説明

**■雄勝中央病院で集団食中毒が発生　湯沢市・秋田　2/19(日) 17:14配信　秋田テレビ**

**秋田県湯沢市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bf225c2c6ea7516dfb719cb5d9590946f0417954>

**食中毒の発生について　2023/2/18　秋田県湯沢市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/42655>

　　本日、湯沢保健所は、湯沢市内の病院において給食を原因とする食中毒の発生があったと断定し、給食の受託調理を行った施設に対し３日間の営業停止処分としましたのでお知らせします。

１　発生日時　令和５年２月１５日（水）午前８時

２　喫食者　　１６５名

３　患者数　　２０名（男性６名、女性１４名、３０～８０代）

４　主な症状　下痢、嘔吐、吐き気など

５　病因物質　ノロウイルス

６　原因施設　雄勝中央病院

所在地：湯沢市

７　原因食品　令和５年２月１４日（火）に上記施設で調理された給食

８　行政処分　令和５年２月１８日から２月２０日まで３日間の営業停止（飲食店営業）

９　経緯

　令和５年２月１６日（木）午前９時３０分、湯沢市内の雄勝中央病院から、同病院の入院者で、ノロウイルス様症状を呈している者が複数いるとの連絡が湯沢保健所にありました。

　湯沢保健所の調査によると、病棟が違うなど患者に共通の接点がないこと、患者らに共通するのは給食施設で調理された給食のみであること、患者６名及び調理従事者２名の便からノロウイルスを検出したことから、同施設において調理された給食を原因とする食中毒と断定しました。

○食中毒防止のための注意喚起事項

　ノロウイルスによる食中毒については、以下の点について注意してください。

　　　・加熱調理をする場合は、中心部分まで十分に加熱（85℃90秒以上）しましょう。

　　　・調理や食事の前には、十分に手指の洗浄・消毒をしましょう（２度洗いが効果的です）。

　　　・まな板、包丁等の調理器具はよく洗い、熱湯や塩素系消毒剤で消毒しましょう。

　　　・ノロウイルスは、人から人へも感染します。日ごろからよく手を洗いましょう。

**■豊田で食中毒、１００人超に症状　こども園など弁当**

**2023年2月18日 05時05分 (2月18日 05時06分更新)　中日新聞　愛知県豊田市**

**ノロウイルス**

<https://www.chunichi.co.jp/article/638157>

**報道発表資料　食中毒の発生について　2023/2/17**　**愛知県豊田市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1052855/1053091.html>

令和5年2月16日（木曜日）、豊田市内で弁当を製造している株式会社トフス（衣ケ原3丁目1番地）から豊田市保健所に、「自社が提供した弁当等の食事を喫食した複数名が体調不良になった」と連絡が入りました。当保健所が同事業者及び有症者に調査したところ、2月17日（金曜日）時点で、食事を喫食した複数グループが食中毒様症状を呈していることが判明しました。また、一部の有症者及び同事業所の調理従事者の便からノロウイルスが検出されました。

これを受けて当保健所は、（1）有症者の共通食が同事業者の提供した食事であること、（2）有症者及び調理従事者の便からノロウイルスが検出されたこと及び（3）有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、本件は、同事業者を原因とする食中毒であると断定し、本日（17日）付けで同事業者を営業禁止処分としました。

なお、有症者のうち入院した人はいません。

食事の提供先　市内事業所やこども園など

提供食数

2月13日（月曜日）　7,480食

14日（火曜日）　7,210食

15日（水曜日）　7,280食

食中毒の原因となった食事（メニュー）　調査中

2月17日（金曜日）時点での調査結果

有症者の一部（19人）からの聞き取り結果

発症日時：2月15日（水曜日）午後4時30分～16日（木曜日）正午

主な症状：水溶性下痢（1回～30回）、嘔吐（1回～15回）、腹痛、発熱（37.0～38.1℃）

当該事業者からの聞き取り結果

推定有症者数：約100人

その他

当保健所は、同事業者に対し、食材の廃棄、清掃及び消毒等の再発防止策の指導を実施します。

**報道発表資料　食中毒の発生に伴うこども園の給食及び高齢者等への配食サービスの停止につい　て　2023/2/17　愛知県豊田市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1052855/1053090.html>

　　令和5年2月17日（金曜日）に株式会社トフス（衣ケ原3丁目1番地）に対して豊田市保健所から営業禁止の処分がされました。豊田市は、これを受け同社が提供しているこども園の給食及び高齢者等への配食サービスを当面の間停止します。

なお、給食等の再開は、当該事業者において再発防止策（施設の消毒、従業員への衛生教育等）がとられ、豊田市保健所の処分が解除された後となります。

こども園の給食について

今後の対応

2月20日（月曜日）から当面の間、市内こども園（29園、約4，500食）の副食（おかず）の提供を中止。別事業者が提供している主食及び牛乳は継続し、保護者へ弁当（おかず）の持参を依頼

直近の対応

2月16日（木曜日）、株式会社トフスから保育課に、同社が提供した弁当等を喫食した複数名が体調不良になったとの報告がされたため、同日市内こども園（29園、4，782食）の副食（おかず）の喫食を中止。17日（金曜日）は、市内こども園28園（4，244食）の副食（おかず）の提供を中止し、ごはん・牛乳・レトルトカレーを提供

高齢者等への配食サービスについて

今後の対応

2月18日（土曜日）から当面の間、配食サービス（1日あたり約650食分）を中止。代替策について、現在検討中

直近の対応

2月16日（木曜日）、株式会社トフスから高齢福祉課に、同社が提供した弁当等を喫食した複数名が体調不良になったとの報告がされたため、同日配食サービス（537食）のうち夕食分337食の中止を要請した（昼食200食は配達済み）。17日（金曜日）は、配食サービス561食分を中止

＜参考＞高齢者等への配食サービスについて

安否確認が必要で、調理が困難な65歳以上のひとり暮らし高齢者等及び障がい者に対し、栄養バランスのとれた食事（1日1食）の提供と安否確認を行うサービス

問合せ

こども園の給食に関すること　保育課：0565-34-6809

高齢者等への配食サービスに関すること　高齢福祉課：0565-34-6984

**■西宮の寿司店、宅配サービスで１３人が食中毒　３日間の営業停止**

**2/17(金) 19:24配信　神戸新聞NEXT****兵庫県西宮市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/109edca17bf2ac6ab32ac6cfdc34a0dc969ff7d0>

**食品衛生法違反者等の公表について　更新日：2023年2月17日　兵庫県西宮市**

**ノロウイルス**

<https://www.nishi.or.jp/kenko/hokenjojoho/shokuhineisei/chishiki/eiseiihan.html>

1.営業許可施設等にかかる行政処分等

営業許可施設等にかかる行政処分等

行政処分等を受けた年月日 令和5年2月17日

行政処分等の対象となった施設の名称及び所在地

鮨・酒・肴　杉玉　西宮北口

西宮市

行政処分等の対象となった食品等

当該施設が2月11日（土曜）及び2月12日（日曜）に提供した食事

行政曽分等を行った理由 食品衛生法第6条第3号違反（食中毒の発生）

行政処分等の内容 2月17日（金曜）から2月19日（日曜）までの3日間の営業停止

行政処分等を行った措置状況

・発症者の疫学調査

・発症者及び調理従事者の検便等実施

・原因施設への立ち入り調査及び施設の拭き取り検査

・食品の衛生的な取り扱い及び施設の清掃消毒の指導

**★寄生虫による食中毒★**

**■「生サバのたたき」からアニサキス 飲食店で食中毒 石川・金沢市**

**2/17(金) 19:09配信　MRO北陸放送　　石川県金沢市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7a34536988f1d457452846690d03e49812747f70>

**“生サバのたたき”食べる…飲食店利用し腹痛訴えた男性の胃から『アニサキス』店を営業停止処分に　2/17(金) 17:20配信　石川テレビ****石川県金沢市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/94499641e4bae3394213ae5b8b06bc90fd311295>

**令和4年度の食中毒発生状況　2023/2/17　石川県金沢市**

**アニサキス**

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/yakuji/syokuhin/hasseisu_tyuudoku.html>

　発表日　2023/2/17

　発生日　2023/2/15

　患者数　1

　原因食品　2月14日に当該施設で調理提供した生サバたたき

　病因物質　アニサキス

　原因施設　飲食店営業（料理店）

**■食中毒発生状況　2023/2/14　高知県高知市**

**アニサキス**

<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/36/syokutyuudoku.html>

　発生月日　2023/2/14

　患者数　1

　原因食品　スマガツオのタタキ・アカムロアジ・タイの刺身

　原因物質　アニサキス

　原因施設　不明

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■感染性胃腸炎（ノロウイルス）患者等の発生について　2023/2/21　北海道函館市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2022060300010/files/kansenseiityouenhaxtusei12.pdf>

令和５年２月１６日（木），函館市内の保育所において感染性胃腸炎患者およびその疑いのある者の発生を確認しましたので，その経過についてお知らせいたします。

記

１ 発生の探知

令和５年２月１６日（木），函館市内の保育所から，嘔吐，下痢等の症状を呈している園児が複数名発生している旨，市立函館保健所に通報があった。

２ 発生の概要

函館市内の保育所で，２月１４日（火）から２月２１日（火）にかけて園児および職員１８名が，嘔吐や下痢等の症状を呈し医療機関において治療を受けた。

（園児１名が入院したが，すでに退院している。）

３ 現在の症状　２月２１日（火）現在，有症者は全員，回復もしくは快方に向かっている。

４ 経 過

　　２月１４日（火） 当該保育所の園児で，嘔吐，下痢の症状を呈する有症者が発生した。

２月１６日（木）その後，嘔吐，下痢等の有症者が複数名発生したため，当該保育所は市立函館保健所に通報した。

同日 医療機関において，便検査を実施した１名からノロウイルスが検出されたことを確認した。

２月２０日（月） 函館市衛生試験所において，有症者の便検査を実施した結果，４名からノロウイルスが検出された。

５ 感染経路　調査中

６ 対 応

市立函館保健所では，当該保育所に対し，園児・職員の健康状況の把握，手洗いの励行および保育所内の消毒等清潔の保持および注意喚起等，感染防止対策について指導を行った。

当該保育所においては，所内の消毒等の措置を行っている。

【ノロウイルス等が原因と考えられる市内の集団感染性胃腸炎の発生状況】

令和５年２月２１日（火）現在

テーブル

自動的に生成された説明

**■感染性胃腸炎の集団発生について　2023/2/20　栃木県**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/kansensaiyou/documents/20230220kansenseiichouen.html>

　概　要

感染症名：感染性胃腸炎(5類感染症)【原因病原体：ノロウイルス】

・集団発生の時期：令和5(2023)年2月6日(初発)

・集団発生の場所：県北健康福祉センター管内の保育所

・発症の状況：令和5(2023)年2月6日～令和5(2023)年2月20日、計31名（園児31名）

・経過：

　　　令和5(2023)年2月10日、県北健康福祉センター管内の保育所から複数の園児が、嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの連絡があり、同日、同センターで調査及び指導を実施した。

　　また、2月18日に保健環境センターにおいて4名の検体（便）の検査を実施した結果、3名の検体からノロウイルスが検出された。重症者はなく、発症者は全員快方に向かっている。

県の対応

　 県北健康福祉センターでは、当該情報の探知後、当該施設における予防対策（園児及び職員の健康管理、手洗い等の励行、汚物等の適切な処理等の迅速な対応）及び消毒について、指導等を実施するとともに、当該施設における発症者等の調査、原因追及のための感染源の調査を実施した。

栃木県内で報告のあった感染性胃腸炎集団発生（30名以上の患者報告数）状況（宇都宮市を含む）

平成30年 8施設（障害者施設1、小学校2、中学校1、保育所3、幼稚園1）

令和元年10施設（高齢者施設1、障害者施設1、小学校1、学校1、保育所6）

令和2年0施設

令和3年12施設（障害者施設1、保育所7、認定こども園4）

令和4年3施設（保育所2、認定こども園1）

令和5年3施設（保育所2、認定こども園1）※今回発生事例含む

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■医薬品成分を含有する製品の発見について　2023/2/17　大阪府大阪市**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31265.html>

　　本日、大阪府から、別添のとおり記者発表を行った旨の連絡がありましたので、お知らせいたします。

別添［PDF形式：532KB］別ウィンドウで開く

<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/000955834.pdf>

**■「生食用かき」から基準値を超える大腸菌　瀬戸内市の組合に製品531個の回収命令　岡山県・三重県に出荷【岡山】　2/15(水) 14:57配信　RSK山陽放送**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/823445d3778736a79316ffd758ecf826206747ac>

**★その他関連ニュース★**

**■東京都内のインフルエンザ流行、ピーク迎えたか - 9保健所管内で前週の報告数を下回る**

**2/22(水) 13:40配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bc0bd351b260031a1c9c09edfc9e4928791885fc>

**■【感染症情報】インフルエンザが11週連続で増加 - 感染性胃腸炎、RSウイルス感染症などは減少　2/21(火) 12:45配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7f292228ff7ac4c95a771016f5a7f77d5205b494>

**■インフルエンザ患者報告数、19都府県で減少 - 厚労省が第6週の発生状況を公表**

**2/17(金) 18:30配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/85358ba7fddb5dc5837077aaf49ed61dd2096d32>

**■東京都内で梅毒急増、3月に「即日検査」実施へ - 新宿・錦糸町など4カ所、レディースデーも　2/16(木) 19:45配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d141f8354c8ee4efd528451b6f8a727bf7dfde52>

**■コロナゲノム解析、BA.5の割合が4割切る - 東京都が結果公表、亜系統への置き換わり進む**

**2/16(木) 18:30配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2e9d4f66947bebc0583176b44bd9bfb24b40a08d>

**■コロナワクチン副反応疑う症状の受診者実態調査へ - 厚労省が事務連絡、医療機関に協力依頼を　2/16(木) 12:40配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/db09df79b4648468b9f6efd5ffc264ac1e6b2964>